

会 議 録

会議の名称	第1回総合計画及び地域創生戦略委員会	
開催日時	令和元年10月24日（木）18時30分～20時30分	
開催場所	宍粟市役所本庁舎402・403会議室	
議長（委員長・会長）氏名	林 昌彦	
委員氏名	（出席者） 大坪津義、小林由佳子、秋山裕美、谷口朱美、春名文子、東 里司、宮辻弘学、田中一成、西山大作、坂本幸子、本條 昇、小藤智代美、林 昌彦、山田 寛、岡本一也、西川彩児、山國和志、高橋美佐子	（欠席者） 古根川淳也
事務局氏名	企画総務部：坂根部長、水口次長 企画総務部地域創生課：西嶋課長、藤原副課長、清水係長、前田係長、大畑主査、朱山主査	
傍聴人数	1名	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） ・委員長・副委員長の選任 ・総合計画及び地域創生戦略委員会について【資料②】 ・第2次総合計画前期基本計画・第1次地域創生総合戦略について【資料③概要版】 ・第2次総合計画後期基本計画・第2次地域創生総合戦略について ①計画策定のための各種調査結果等の概要等【資料④-1・2】 ②計画の概要及び骨子案について【資料⑤】 ・第2回宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会の開催日について	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認	（委員長等） 委員長 林 昌彦 （確認日11月5日）	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>■開会</p> <p>■委嘱状の交付（市長より各委員へ） （会議の公開について説明・公開の承認）</p>
市長	<p>■市長あいさつ</p> <p>宍粟市の総合計画策定ということで、委員の皆様へ委嘱をさせていただきました。長期スパンでまちのあり方を検討いただくところです。宍粟市は平成17年に合併し、10年間の第1次総合計画を策定しました。その後、同様に10年間の第2次総合計画を策定することとなり、それに則ってまちづくりを進め、間もなく第2次総合計画の前期基本計画が終わろうとしています。これまでの歩みを振り返りながら後期基本計画に向かいます。</p> <p>一方、国も人口減少や過疎化に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした地方創生の戦略を立てていますが、宍粟市あるいは兵庫県としては地域創生という名称で、人口減少を食い止めるために一定の人口目標を定め、今日まで戦略を進めてきました。来年度末で人口37,000人台をキープするという目標を立てていますが、なかなか厳しい状況であり、人口が減っていくのは致し方ないことではありますが、今ここに暮らしている人々が、いかに活力をもって地域を維持していくかが命題だと思っています。</p> <p>委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場でさまざまな経験をしてこられた見識のある方ばかりですので、その英知を結集し未来の子どもたちに宍粟市をしっかりと残していきたいと思っています。これから何度も集まっていただくことになるとと思いますが、宍粟市の未来に向けてご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>■委員会委員の紹介【資料①】</p> <ul style="list-style-type: none">・委員自己紹介・事務局自己紹介
事務局	<p>■委員長、副委員長の選出 （選考委員による選考方式を提案・異議なし） （選考委員の指名 大坪委員、宮辻委員、西山委員、坂本委員、小藤委員）</p> <ul style="list-style-type: none">・別室にて委員長、副委員長の選出（選考委員長は大坪委員） <p>（委員長に林 昌彦委員、副委員長に山田 寛委員を選出・承認）</p>

事務局	<p>■委員長、副委員長あいさつ</p> <p>■諮問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長より委員長に諮問 <p>■協議事項（進行：委員長）</p> <p>（１）総合計画及び地域創生戦略委員会について【資料②】 （資料②について説明）</p> <p>資料② 5. 小委員会について （小委員会メンバー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林委員長、山田副委員長、宮辻委員、西山委員、本條委員、小藤委員、岡本委員、古根川委員、西川委員、高橋委員の 10 名 <p>（２）第 2 次総合計画前期基本計画・第 1 次地域創生戦略総合戦略について【資料③概要版】 （資料③概要版について説明）</p>
委員長	<p>国立社会保障・人口問題研究所では 2060 年に人口が半減するという予測をされていますが、実はこの緑の線を見ると、ほぼ直線になっていることにお気づきになると思います。これは、過去の傾向が将来もずっと続くという仮定で予測をしており、最も単純な予測になります。全国の市町村それぞれの地域の特性を加味して予測することはできませんので、このように直線的な予測になっています。そして、宍粟市の目標としては 2060 年で人口 33,000 人というのが、この図の示すところです。</p> <p>「森林（もり）から創（はじ）まる地域創生」というテーマについては議論がかなりありましたが、やはり働く場が必要だということです。宍粟市の人口は、18 歳と 22 歳の就職するタイミングで流出してしまい、そのあとなかなか戻ってくることはできません。企業誘致ができればよいのですが、それを待っているわけにはいかないとすると、やはり地場の企業に頑張ってもらわなければならないわけです。必ずしも林業に限りませんが、宍粟市の自然条件を考えると、森林（もり）が地場産業の代表となり、足元からもう一度地域をつくり直していこうというメッセージが、この言葉に込められていると思います。総合力でもって地域が生き生きしていくということをこの図が示しているわけです。今までの説明について、ご質問、ご意見ございませんか。</p> <p>（質疑なし）</p>
事務局	<p>（３）第 2 次総合計画後期基本計画・第 2 次地域創生総合戦略について</p> <p>①計画策定のための各種調査結果等の概要等【資料④－ 1・ 2】</p>

委員	<p>(資料④－１・２について説明)</p> <p>総合計画、総合戦略ともに基礎調査報告書とアンケート調査を受けて今後の施策展開になると思いますが、アンケート調査で特に北部地域では食料品や日用品を買うところがないという意見が多かったにもかかわらず、施策展開にそれが反映されていません。北部地域の住民には深刻な問題ですので、今後の施策展開に入れていただくよう、お願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>買い物に関する課題につきましては、日常生活に必要な機能を確保していくという生活圏の拠点づくりに関して記載している戦略の今後の施策展開において、買い物のことも含めて「ソフト面での拠点づくりの取組を検討する」としているところです。</p>
委員	<p>もう少し具体的に書いていただければ、わかりやすくなると思います。</p>
委員長	<p>市民から見てわかりにくいところを、どんどん直していけばよいと思います。行政サイドが考えた文章のままでは、市民からするとわかりにくいし、誤解を招きかねません。これは市民が共有すべきものですから、市民の立場からいろいろと注文していただくよう、お願いしたいと思います。</p> <p>ここに書かれていないことが、大切でないというわけではありません。すべて大切ですが、その中でも特にということでもリハリをつける形での掲載が重要になってきます。特出すべき内容を中心にして、コンパクトにまとめていくことも必要です。</p>
事務局	<p>②計画の概要及び骨子案について【資料⑤】</p> <p>(資料⑤について説明)</p> <p>■その他</p> <p>(1) 第2回宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会の開催日について</p> <p>日時：令和元年12月19日(木)14時30分～</p> <p>場所：宍粟市役所本庁舎402・403会議室</p> <p>■閉会</p>